



旭市

第32号
2014年1月10日

編集発行
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL.0479(57)5577
FAX.0479(57)2836
URL <http://www5.plala.or.jp/asahisi-syakyo/>
e-mail: asahi-syakyo@cpost.plala.or.jp

社協だより



おたっしや会開催

10月22日、23日に70歳以上ひとり暮らし高齢者を対象としておたっしや会を開催しました。



主な記事内容

- 会長ごあいさつ…………… 2
- 社会福祉大会受賞者 …………… 3
- 最優秀作文 …………… 4～6
- 千葉県社会福祉大会千葉県民生委員児童委員大会
受賞者、心配ごと相談案内 …………… 6
- わがまちの地区社協、地域のたより …………… 7
- 臨時職員募集、男の料理教室参加者募集、
軽乗用車の購入について、平成25年度災害ボラン
ティア研修会、賛助会員、会員募集、寄附御礼 …… 8

新年のごあいさつ



旭市社会福祉協議会

会長 埜 政 美

2014年の新年を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旭市社会福祉協議会は、市民の皆さん、福祉関係諸団体の皆さん、そして、旭市の力強いバックアップ等々、多くの皆さんに支えられて、旭市社会福祉協議会の諸活動が進められております。

さて、昨年11月30日には、第9回旭市社会福祉大会を東総文会館に於いて多くの来賓の皆さんや市民の皆さんにご参加をいただき無事に開催いたしました。式典では、今年度顕彰者として、市長感謝状1団体、会長表彰は、役員功労11名、ボランティア功労7名、篤志寄付功労個人6団体。会長感謝状は役員功労2

名、ボランティア功労1名、篤志寄付功労個人2名と9団体、永年介護賞2名の表彰が行われました。さらに、市内の小中学校の福祉作文の入賞者の表彰と最優秀作文の発表も行われました。今年の記念講演には、元NHKアナウンサー宮川泰夫さんをお迎えして、「のど自慢」12年の旅から〜であい ふれあい ひびき あい をご自身の体験や「のど自慢」の裏話などをご講話ください、社会福祉協議会の主たる活動である地域福祉の重要性をご講話下さりました。

さて、新しい年を迎えて、今日の旭市社会福祉協議会を取り巻く情勢は、さらに厳しさを増しております。先の東日本大震災を

はじめ、異常気象による集中豪雨等が頻繁に発生し、国民生活に様々な障害をもたらしております。このような中、わが旭市においては、各種福祉施策が進められており、今年は合併10年目という節目の年となります。本社協もこの節目の年を迎えるにあたり、地域住民の福祉向上と高齢者及び障害者の方々をささえる

事業を充実させ、皆様が福祉の恩恵を実感できるようにしなければなりません。しかし、少ない予算のなか地域福祉を向上させるには、社協本体の改革と事業を精査して効率化を図る必要があります。そのために、昨年度策定いたしました第2次旭市地域福祉活動計画を基本とし、地域の皆様が住み慣れたまちで、安心して生活できる環境づくりのため、行政当局はもちろんのこと関係諸団体、地区社会福祉協議会との連携を強め、市民の方々のご協力をいただきながら、役員並びに職員一同今まで以上の努力をいたす所存でございます。

第9回旭市社会福祉大会に於

いて確認された3項目の重点目標を軸として取り組んでいきます。すなわち、①ボランティア育成を強化し、参加型のまちづくりに努める、②福祉教育を推進し、ゆたかな福祉文化の醸成に努める、③各種相談体制と介護サービスの提供を充実させ、安心できるまちづくり推進に努める。

これらを推進し、諸課題に積極的に取り組んでいきます。

結びにあたり、旭市民の皆さまの益々のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



地域福祉の貢献に晴れの受賞 —第9回旭市社会福祉大会を開催—

平成25年11月30日、東総文化会館大ホールで、第9回旭市社会福祉大会を開催しました。大会には、市内福祉関係者や市民の方々が参加。地域福祉に貢献された方々へ市長及び社会福祉協議会長から表彰状、感謝状が贈られました。また、市内小中学生の福祉作文入賞者の表彰、最優秀作文の発表、講演が行われました。

受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

市長感謝状

NEXUS(株)Dステーション旭店

会長表彰

◇役員功労

崎山光司 / 鈴木英子 /
遠藤輝之 / 伊藤武夫 /
高橋照子 / 崎山秀雄 /
佐久間武利 / 高野善壽 /
飯田登起夫 / 宮内明美 /
大宮まさ子

◇ボランティア功労

塙進 / 鵜澤恂一 / 掛巢則子 /
佐藤とり子 / 五木田登志子 /
平野加津 / 加瀬文雄



来場者にお礼を述べる受賞者の皆さま

◇篤志寄付功労

あさひ舞踊会 / (株)ステップ /
合同歌謡会 /
旭市文化協会美術部 /
歌謡旭クラブ /
旭市文化協会芸能部

会長感謝状

◇役員功労

田村敏子 / 志村月子

◇ボランティア功労

伊藤萌萌華

◇篤志寄付功労

高野丈夫 / 高野トシ子 /
日華化学(株) /
日蓮宗千葉県東部宗務所 /
銚子商工信用組合信友会 /
新みのり会 /
ハレーダビットソンモーターサイ
クルクラブ ZERO ONE MC /
(有)K.Y.プロモーション /
旭市美術協会 /
朝日新聞飯岡愛読者の方々 /
飯岡舞踊会



ユーモアを交えながらのど自慢の舞台裏や
地域福祉の重要性を講話する宮川先生

永年介護賞

斉藤高男 / 飯田ふじ

社会福祉作文入賞

◇最優秀

石毛翔大 / 若梅あかね

◇優秀

林真澄 / 深堀瑠美 / 伊藤愛美 /

伊藤美紅 / 多田遼平 / 永山李奈

◇佳作

鈴木友彩 / 三崎美祐 / 飯島楓 /

平野巧 / 富沢友華 /

山田彩乃 / 小久保美佑 /

大湊美空 / 青木佳奈 /

山崎愛理 / 穴澤美咲 / 藤野永遠



早くより手伝う地域のボランティアの皆さま

福祉作業所を紹介します

小学生の部

「福祉作業所の見学を通して」

旭市立共和小学校 第5学年

石毛 翔大 さん



作文を発表する石毛翔大さん

僕のお母さんは、障害者(児)の通所施設で働いています。地域活動支援センター「旭市福祉作業所」という所です。養護学校などを卒業した人達が仕事をやる場所だとお母さんが言っていました。

夏休みの間に、僕も福祉作業所の見学に行きました。障害者

の人達も仕事をしていることにおどろきました。

旭市福祉作業所では十五人の障害者の人が通ってきています。見学へ行った時は十三人の人が働いていました。ここまで何で来るのかなと思って聞いたら、送迎バスや徒歩で来ていると教えてくれました。

僕のお母さんのお兄ちゃんも生まれた時から障害をもつていて、ここで働いています。

僕が見学に行った時は、チラシの袋づめと落花生のせん別、ネギの汚れている所の皮むきをやっていました。僕もチラシの袋づめと落花生のせん別体験をさせてもらいました。僕には簡単な作業だったけど、障害者の人達にはむずかしいのかなと思います。

ました。僕は少しやっただけだけど、根気のいる作業だと思いました。お母さんのお兄ちゃんも、ネギの皮むきの仕事をしていました。ネギの皮むきは仕事の中で一番むずかしい仕事です。ネギの皮むきを見ていたら、目が痛くなったので見るのはやめました。こんなに目が痛くなるのに「イタイ、イタイ。」と言わずに作業をやっているのはとてもすごいなと思いました。僕には出来ないなと思いました。

となりには畑もありました。トマト、キュウリ、トウモロコシ、落花生、さつまいも、ゴーヤとたくさん野菜を育てていました。野菜は水をかけてあげないと枯れてしまうので、暑いけど毎日水まきをしていると言っていました。僕も一緒に畑へ行き、野菜に水をかけました。大きくおいしく育つといいなと思いました。

僕は福祉のことを知りませんでした。

辞典で「福祉」と調べたら「人々の幸せ。世の中の幸福」と書いてありました。「障害」と調

べたら「体に故障があること」と書いてありました。正直、辞典の意味だけでは、わかったようなわからないような気持ちです。

僕は、今まで、福祉とは「困っている人を助けること」と思っていました。障害とは「どこかが悪い人。かわいそうな人。」と思っていました。僕の考えは間違っていたと思います。

見学に行つて障害者の人はとても頑張っていて、すごく努力をしていることがわかりました。僕にもたくさん話しかけてくれました。

手助けをしてあげるのではなく、一人の人間として、たがいにみとめ合うことが、世の中の幸福につながるのだと思います。僕は体に障害なく生まれてきました。だからこそ僕は誰にでもやさしく出来る人になりたいです。みんなが幸せになるように、自分に出来ることをしようと思います。



中学生の部

「友達と一緒に頑張るために」

旭市立第二中学校 第1学年

若梅 あかね さん



作文を発表する若梅あかねさん

私には、障害を持つ友達がいます。彼女は、生まれつき心臓が弱く、幼い頃手術をしました。が、その時の後遺症で足が不自由になり、自分では歩くことができなくなっていました。現在は車椅子で生活しています。彼女の母と私の母は若い頃からの親友同士で、私は赤ちゃんの頃からいつも彼女と一緒にいました。私が物心ついた頃には、彼女は既に車椅子での生活でした。

ですから、健常者ならできるところでも一人でできないことが多いです。いつも一緒にいた私はいろいろ手伝わなければなりません。小さい私にはそれがとても大変で、正直心の中ではいつも「面倒くさい」と思っていました。遊ぶときも出かけるときも、車椅子を押したりおんぶしたりで、どうしても私がこんなに頑張らなければならぬのだらうと思ってしまうのです。何度か母にそれをぶつけたことがあるのですが、そういう時の母は「瞬悲しそうな顔をし、すぐにいつもの笑顔になって、「頼むね。」と明るく言うだけでした。少しずつ体が大きくなると、当然その負担も大きくなります。小学校低学年の頃には、口にくそ出しませんでしたが、「面倒くさい」という気持ちのままますます大きくなっていったように思

います。

しかし、ある時私は気づいたのです。彼女が自分の動かない足を一生懸命使おうと努力していることに。自分にできそうなことはどんなことでも自分でやろうとします。そのために怪我也もよくします。それでも彼女はその努力を止めません。自分の力で「少しでも」と頑張っているのです。私はそのことに気づいてからは、彼女と一緒にいることが「面倒くさい」とは思わなくなりました。「彼女と一緒に頑張ろう」と思うようになったのです。私は障害があっても、明るく活発な彼女が大好きです。中学生になってそれぞれ違う学校に通うようになり、部活動も忙しくなると、小学生のときのようにいつも一緒にいるわけにはいきませんが、それでも休みの日は一緒に出かけたり遊んだりしています。

そんな中で私には感じることもあるのです。それは、障害を持つ人にとって、今の社会はまだまだ不便で、障害者への理解も十分ではないということです。

たとえば、ファミリーストランに入ろうとします。入り口には階段があり、それが大きな段差だったら、車椅子を後ろ向きにし、力を入れて引っぱり上げて昇らなければなりません。最近ではスロープをつける店も増えていますが、そういう店ばかりではないので困っています。また、大型店舗に行つたとしても、私が大型店舗でまですることにはエレベーター探しです。ぐるぐるの店内を車椅子を押しながら歩き回り、エレベーターを探し出してまずはほととします。たいていの大型店舗では、店内の真ん中にエスカレーターがあります。ここに車椅子でも乗れるエスカレーターがあつたらどんなにいいだろうと、恨めしく思うことがあります。道路だつてそうです。道路に落ちていた小さな小石。車椅子ではどんな小さな小石でも簡単にタイヤをとられてしまうのです。ほんの少しの凹みでも前輪がはまって抜け出せず、大変な思いをすることがあります。このように、私達健常者には取るに足らないようなこ

とても、車椅子生活をしている人にとっては大変なことがたくさんあるのです。そんな中で一番困るのは、大勢の人込です。人込に車椅子で巻き込まれてしまふと、歩いている人に車椅子の金属部分が当たったり、歩いている人の足をタイヤで踏んでしまいはしないかと神経を使い、はらはらしながら進まなければなりません。以前彼女に聞いたことがあるのですが、人込みに巻き込まれてしまったとき一番辛いのは、露骨に嫌な顔をされることだと言っていました。ですから、もしイベントなどがあつて人込みができると予想されるときには、障害のある人専用の歩くスペースを用意したり、温かい対応を呼びかけお世話してくれるボランティア活動のようなものがあるのも良いのではないかと思うのです。

たしかに、現代はバリアフリーの考え方が広がって、町にも社会にも障害を持つ人やお年寄りに対する理解や支援が浸透してきています。それでもまだ十分というところまではいって



モデルとなったお友達も来場されておりました

ないと思うのです。私は友達を通してそのことに気づきました。誰でも、互いに触れ合えば、それまで見えてなかった相手の様々なことに気づき、気づけばそれを気遣って行動することができます。ですから、まずは障害者でもお年寄りでも、面倒くさいと思わずに、触れ合ってみることが大切だと思います。私はこれからも大好きで大切なこの親友と、一緒に出かけたり遊んだりして、共にたくさんのお話を体験し、頑張っていこうと思っています。母と彼女の母達のように。

受賞おめでとうございます

平成25年11月11日、千葉県文化会館で第63回千葉県社会福祉大会第17回千葉県民生委員児童委員大会が開催され、旭市から次の方々表彰されました。(敬称略)

◆千葉県社会福祉協議会会長表彰

横田 信一郎／細野 典仁／大木 美恵／小原 文雄／藤井 伸江／阿嶋 さつき／川嶋 幹生／高橋 雅明／齊藤 紀子／和田 京子／古山 勇一／伊藤 一実／越川 雅昭

◆千葉県共同募金会会長表彰

西13区／西下町区／椎名内仲町区／後草区／溜下区／十日市場浜区

◆千葉県民生委員児童委員協議会会長表彰

嶋田 幸江／嶋山 秀雄／佐久間 武利／高野 善壽／高橋 照子／遠藤 輝之／伊藤 武夫／飯田 登起夫

心配ごと相談

旭市社会福祉協議会では本所・支所で家庭内の心配ごとなどの相談を受け付けています。相談は無料です。

場 所	連 絡 先	期 日	時 間
飯 岡 本 所	☎ 57-5577	第 1 水 曜 日	午後1時30分～午後3時30分
旭 支 所	☎ 64-2570	第 2 水 曜 日	午前10時～午後3時
海 上 支 所	☎ 55-5517	第 3 水 曜 日	午後1時30分～午後3時30分
干 潟 支 所	☎ 68-1079	第 4 水 曜 日	午後1時30分～午後3時30分

※旭支所開設時間のみ午前10時～午後3時までとなっております。

※開設日が祝日の場合は翌日に実施します。

わがまちの地区社協(ちくしゃきょう) 今回は「共和地区社会福祉協議会」の紹介です。

共和地区は、旭駅の北西部に位置し、10区、約1,100世帯が在住しています。

共和地区社会福祉協議会は、前身となる旭市社会福祉協議会共和地区支会として地域の諸問題について取り組んでまいりました。

現在区長、民生委員・児童委員、主任児童委員、老人クラブ、母子寡婦福祉会、ボランティア、小学校、PTA、保育所、保育所後援会からなる40名の委員を組織し活動を展開しております。

主な事業として、高齢者地域ふれあい交流事業、高齢者グラウンドゴルフ大会の開催、一人暮らし高齢者訪問、研修会、清掃活動、防犯パトロールなど、学校・保育所関連行事の参加等幅広く事業を展開しております。

今後とも、共和地区の皆様とともに歩める共和地区社会福祉協議会として活動予定です。



12月4日に共和保育所で開催された地域ふれあい交流事業の様子です。当日は64名の参加があり、園児と共に楽しい一日を過ごしました。

地域のたより

古城地区地域福祉フォーラムを継続中

古城地区社会福祉協議会では、平成22年度より、千葉県の助成を受けて、より良い地域づくりのための地域福祉フォーラムを開催してまいりました。千葉県からの助成終了後も活動を継続し、今後ともより良い古城地区づくりのため活動を継続しています。



地域福祉フォーラムとは？
様々な分野の団体や個人が参加・協働し「地域づくりのあり方・取り組み方を考えていく組織(話し合いの場)」のことです。

身近な仲間での助け合い

中央地区の仲良しグループが月1回程度お茶会を開いていると聞き、お話を聞かせていただきました。

5年前よりお子安講が終わってからも、継続的に集まり、福祉の制度や、今の不安に思っていることなどについて話しているのとこととでした。特に東日本大震災の時には、メンバーが声を掛けあい、近くの公園で不安なひとときを一緒に過ごしたそうです。



いざという時には隣近所で。日頃よりコミュニケーションが大切。出来る限り会を継続したいと話しておられました。

今後とも助け合いを出来るグループとして活動を継続したいと参加されていた方々が話しておりました。

お知らせ

旭市社会福祉協議会臨時職員を募集します

職 種	募集人数	応募資格	応募期限	身分	採用予定日
訪問介護員 (登録ヘルパー)	若干名	ヘルパー2級以上の方	随時	パート	随時

募集要件 / 普通運転免許、ヘルパー2級以上、
年齢60歳くらいまで

勤務場所 / 本所(旭市横根3520番地)

提出書類 / 履歴書(写真添付)、資格証写し

【申込み先】

〒289-2712 旭市横根3520番地(飯岡福祉センター)
社会福祉法人旭市社会福祉協議会

☎ 57-5577

※待遇等詳しくは、お問い合わせください。

料理をしてみませんか？

男の料理教室参加者募集

日 時 平成26年2月4日(火)
9時30分～

場 所 いいおかユートピアセンター

テ ー マ 鍋料理

参加対象 市内在住男性

参加費 500円

持 ち 物 エプロン、三角巾(頭を覆うもの)、包丁、
フキン2枚、タオル1枚他

定 員 20名(先着順)

申 込 先 社協本所(57-5577)
定員となり次第締め切ります。



旭市社会福祉協議会軽乗用車の購入について

見積合せを実施します。詳細はホームページに掲載
しています。資料は本所でも配布しています。

【配布場所、問い合わせ】

〒289-2712 旭市横根3520番地(飯岡福祉センター)
社会福祉法人旭市社会福祉協議会

☎ 57-5577

<http://www5.plala.or.jp/asahishi-syakyo/>

災害時のボランティアに興味ある方募集
平成25年度災害ボランティア研修会

日 時 平成26年2月23日(日)
午後1時30分～3時45分

会 場 飯岡保健センター多目的ホール

内 容 「災害時の決断(仮)」

定 員 50名程度

申 込 先 社協旭支所(64-2570)
定員となり次第締め切ります。

ご寄付ありがとうございました

9月から11月末日までに、次の方々から旭市社会福祉協議会
へご寄附をいただきました。心温まる浄財は、社会福祉事業で有
効に使わせていただきます。ありがとうございました。(敬称略)

- 高野丈夫
- 高野トシ子
- つくしの会
- 旭民謡会
- 歌謡旭クラブ
- (株)ステップ
- カラオケ愛好一心会
- 秀花歌謡教室
- 飯岡舞踊会
- あさひ舞踊会
- ダンスサークルあさひ
- かあちゃん市組合
- 海上歌謡虹の会
- 日華化学(株)
- 田村真二

会費を随時募集しております

◆賛助会員

年会費3,000円(一口)

社会福祉協議会活動に賛同をいただいで
いる個人・各種団体から協力をいただいで
います。

◆特別会員

年会費3,000円(一口)

市内の法人や事業所からご協力いただいで
います。

※ご協力いただける方は

本所(57-5577)・旭支所(64-2570)まで
ご連絡下さい。

社会福祉協議会賛助会員
(平成25年10月上旬～11月下旬受付分)
富浦地区社会福祉協議会役員一同